

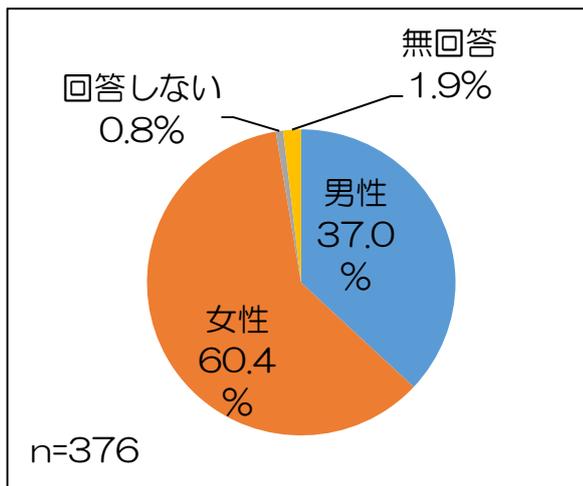
生涯学習に関する市民アンケート(集計)

調査期間	令和6年11月1日(金)～11月29日(金)
調査方法	①市内社会教育施設(公民館等)での紙面調査 ②市ホームページアンケートフォーム(Web)調査
回答割合	回答総数 376件 内 紙面調査 234件 アンケートフォーム調査 142件

Q1_あなたの性別を教えてください。

	回答数	割合
男性	139	37.0%
女性	227	60.4%
回答しない	3	0.8%
無回答	7	1.9%

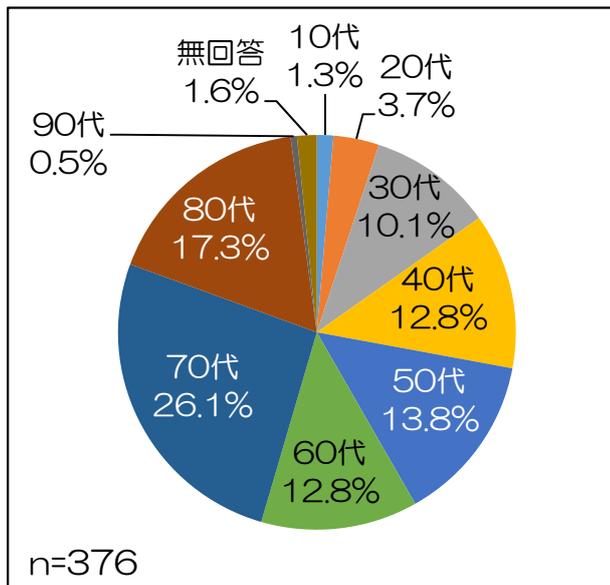
※割合の母数は回答者数（376）



Q2_あなたの年齢について教えてください。

	回答数	割合
10代	5	1.3%
20代	14	3.7%
30代	38	10.1%
40代	48	12.8%
50代	52	13.8%
60代	48	12.8%
70代	98	26.1%
80代	65	17.3%
90代	2	0.5%
無回答	6	1.6%

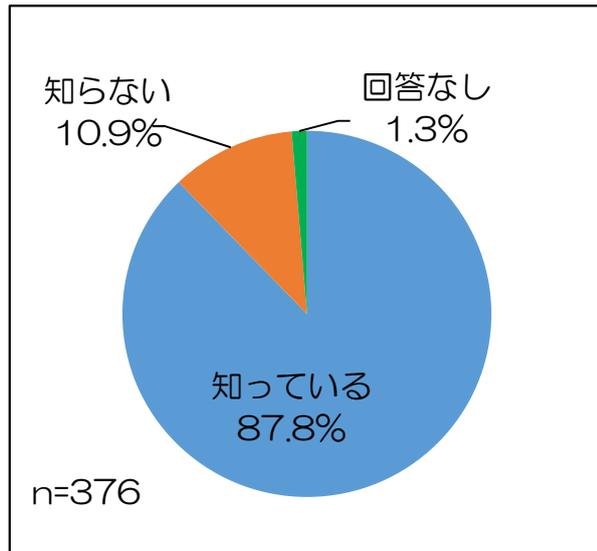
※割合の母数は回答者数（376）



Q3_あなたは「生涯学習」という言葉を知っていますか。

	回答数	割合
知っている	330	87.8%
知らない	41	10.9%
回答なし	5	1.3%

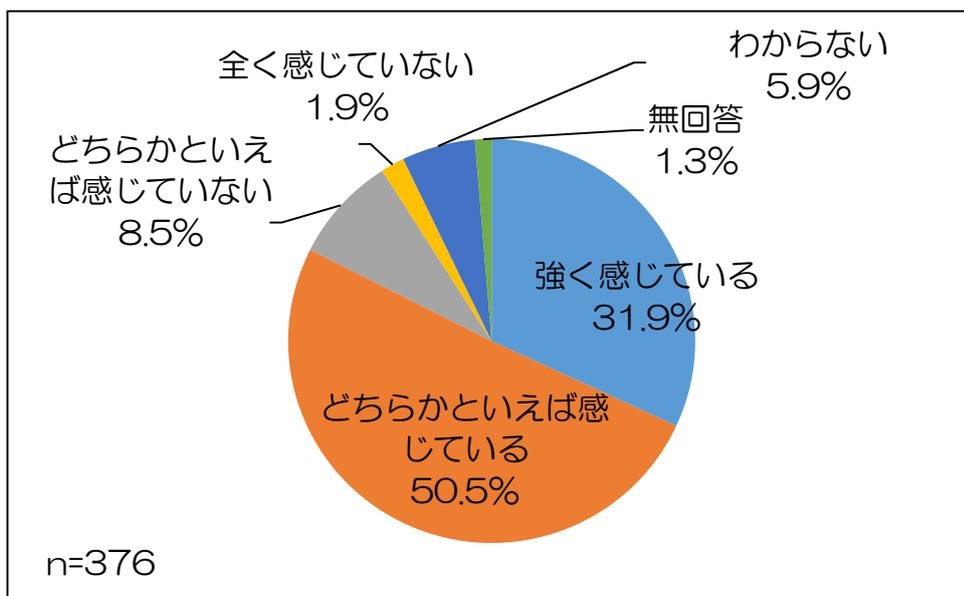
※割合の母数は回答者数（376）



Q4_あなたは、日頃から生涯学習の必要性を感じていますか。

	回答数	割合
強く感じている	120	31.9%
どちらかといえば感じている	190	50.5%
どちらかといえば感じていない	32	8.5%
全く感じていない	7	1.9%
わからない	22	5.9%
無回答	5	1.3%

※割合の母数は回答者数（376）



Q5_あなたが現在行っている活動は何ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
趣味に関するもの（音楽・美術・華道・舞踊・鑑賞など）	200	53.2%
スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関するもの （ジョギング・水泳・ウォーキング・ダンス・ラジオ体操など）	183	48.7%
地域のイベントに関するもの （お祭りや公共施設で行っている事業など）	107	28.5%
家庭生活に関するもの （料理・裁縫・編み物など）	81	21.5%
ボランティア活動に関するもの	80	21.3%
教養に関するもの（文学・歴史・科学・語学など）	78	20.7%
スマートフォンやパソコンの使い方、インターネットに関するもの	45	12.0%
子育て・教育に関するもの	44	11.7%
自然体験などの活動 （キャンプ・ハイキング・フィールドワークなど）	43	11.4%
活動を行っていない	37	9.8%
仕事に関係のある知識や資格の習得など （職業上必要な知識・技能）	36	9.6%
社会問題に関するもの （社会・時事・国際・環境・エネルギーなど）	31	8.2%
学校課程（高等・専門・大学・大学院）での学習	14	3.7%
その他	6	1.6%

[その他]の回答： 着ぐるみアクションチームに参加してのショー活動/パークゴルフ/グラウンドゴルフ/あきカン集めて小学校へ/キレイデザイン学/手話の学習/

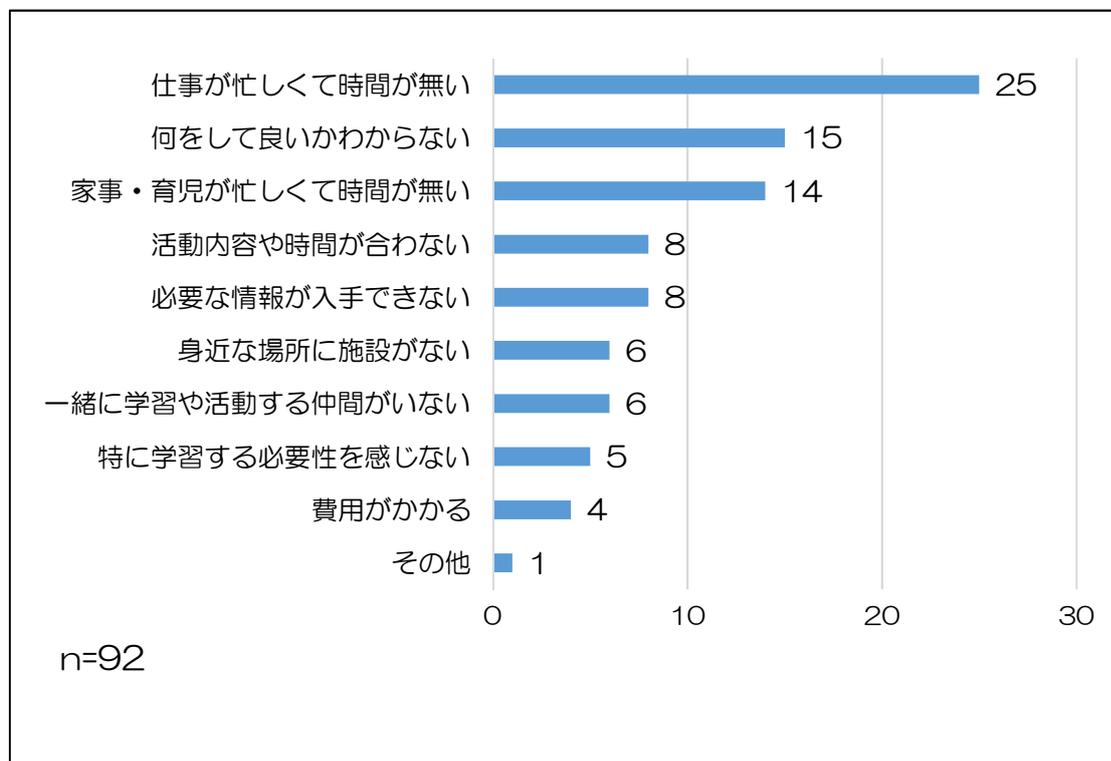
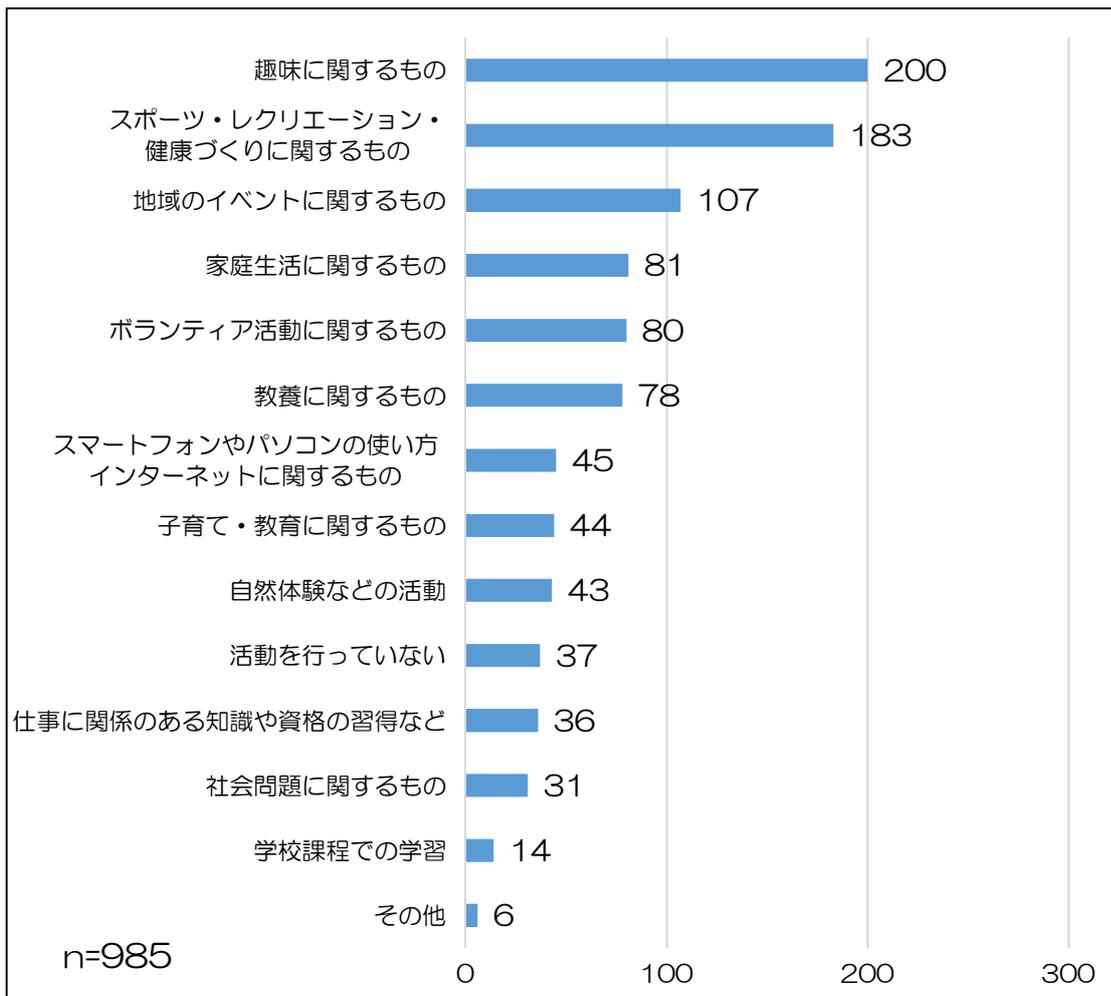
※割合の母数は回答者数（376）

Q5-2_活動を行っていない理由は何ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
仕事が忙しくて時間が無い	25	67.6%
何をしても良いかわからない	15	40.5%
家事・育児が忙しくて時間が無い	14	37.8%
活動内容や時間が合わない	8	21.6%
必要な情報が入手できない	8	21.6%
身近な場所に施設がない	6	16.2%
一緒に学習や活動する仲間がいない	6	16.2%
特に学習する必要性を感じない	5	13.5%
費用がかかる	4	10.8%
その他	1	2.7%

[その他]の回答： なし

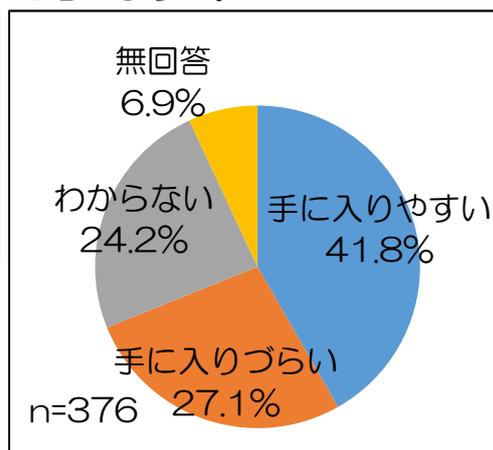
※割合の母数はQ5で「活動を行っていない」と回答した数（37）



Q6_生涯学習に関する情報は手に入りやすいと思いますか。

	回答数	割合
手に入りやすい	157	41.8%
手に入りづらい	102	27.1%
わからない	91	24.2%
無回答	26	6.9%

※割合の母数は回答者数（376）

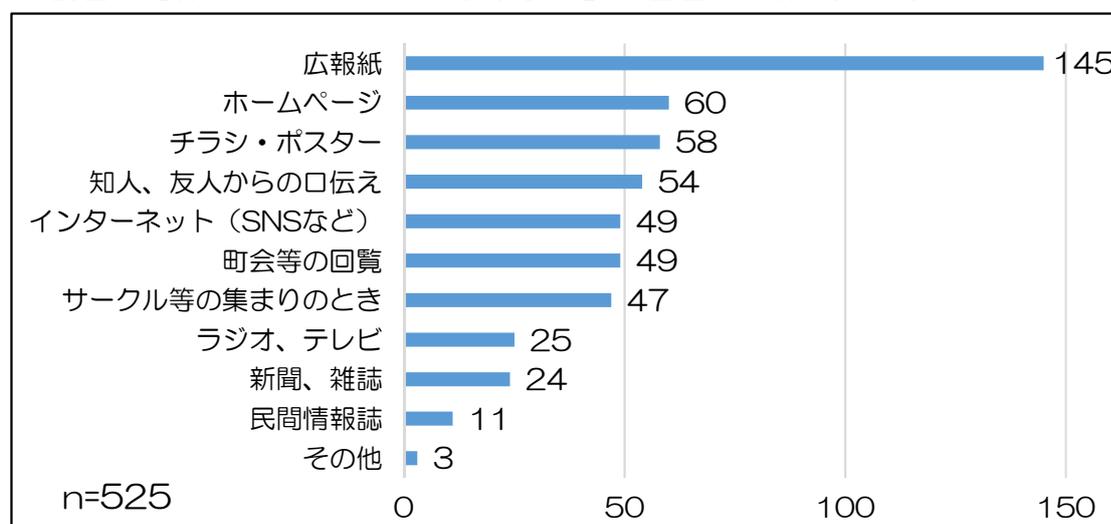


Q7-1_どこから情報を得ていますか。（複数回答可）

	回答数	割合
広報紙	145	92.4%
ホームページ	60	38.2%
チラシ・ポスター	58	36.9%
知人、友人からの口伝え	54	34.4%
インターネット（SNSなど）	49	31.2%
町会等の回覧	49	31.2%
サークル等の集まりのとき	47	29.9%
ラジオ、テレビ	25	15.9%
新聞、雑誌	24	15.3%
民間情報誌	11	7.0%
その他	3	1.9%

[その他]の回答： 図書館／公共施設の掲示板

※割合の母数はQ6で「手に入りやすい」と回答した数（157）

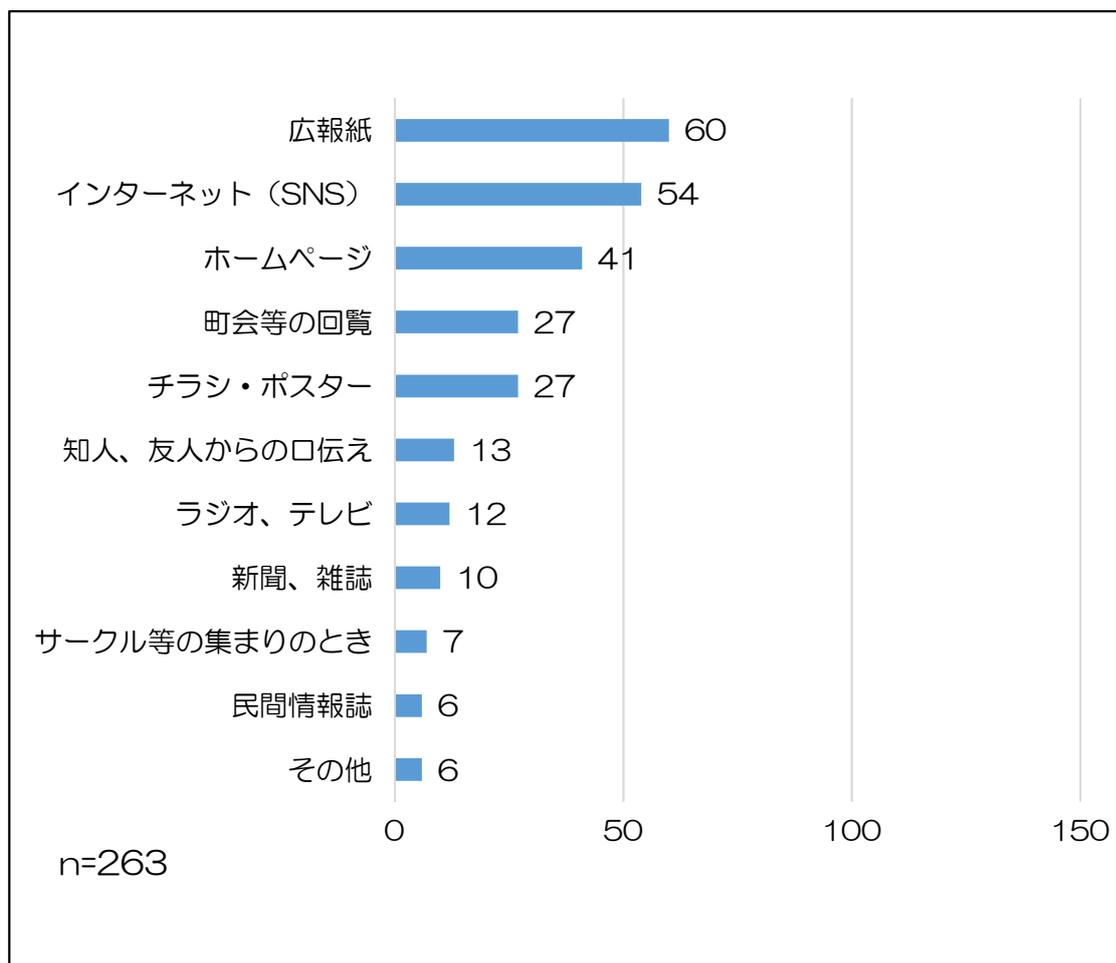


Q7-2_どこから情報を得られたら便利だと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
広報紙	60	58.8%
インターネット（SNSなど）	54	52.9%
ホームページ	41	40.2%
町会等の回覧	27	26.5%
チラシ・ポスター	27	26.5%
知人、友人からの口伝え	13	12.7%
ラジオ、テレビ	12	11.8%
新聞、雑誌	10	9.8%
サークル等の集まりのとき	7	6.9%
民間情報誌	6	5.9%
その他	6	5.9%

[その他]の回答： 図書館／増進センターからの紹介／地域での集まり／広報紙だけでなくSNS等を使った積極的な発信

※割合の母数はQ6で「手に入りづらい」と回答した数（102）

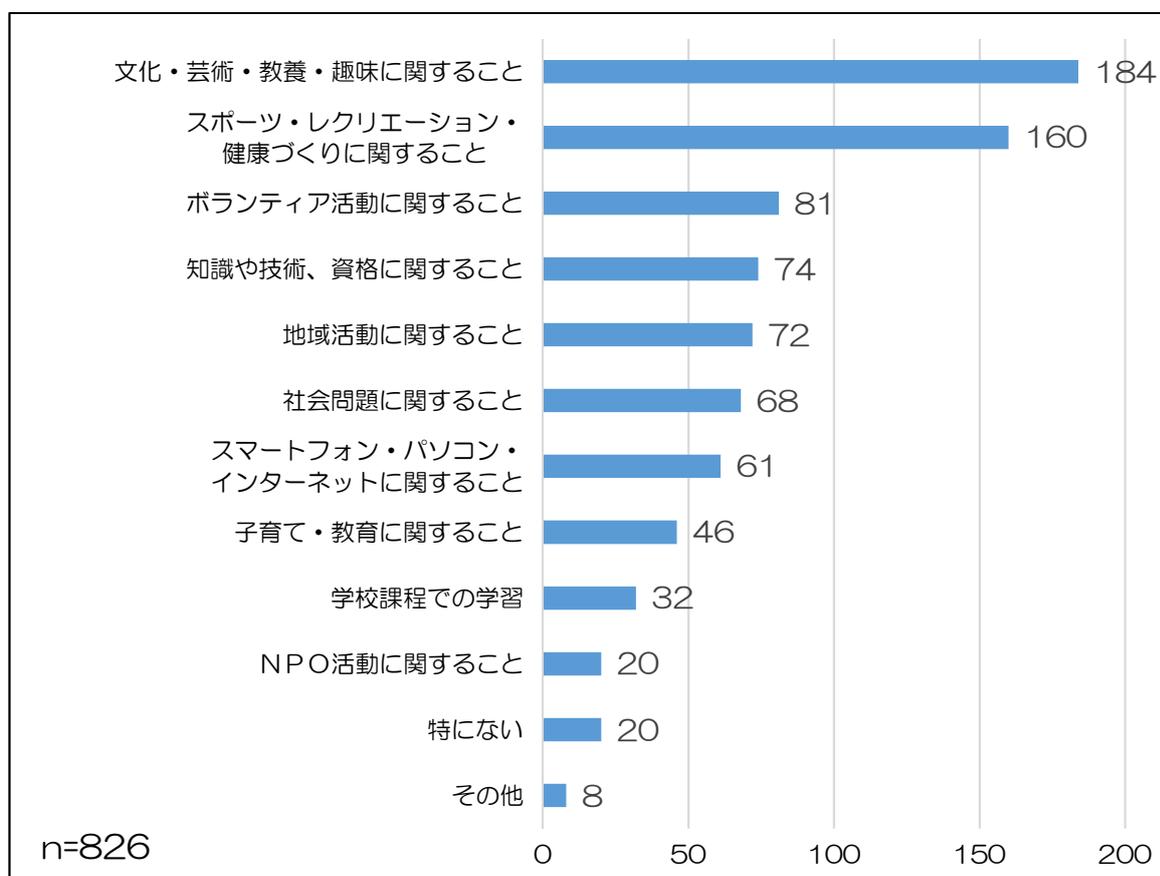


Q8_今後、どのような活動を行いたい（行ってみたい）ですか。（複数回答可）

	回答数	割合
文化・芸術・教養・趣味に関すること	184	48.9%
スポーツ・レクリエーション・健康づくりに関すること	160	42.6%
ボランティア活動に関すること	81	21.5%
知識や技術、資格に関すること	74	19.7%
地域活動に関すること	72	19.1%
社会問題に関すること	68	18.1%
スマートフォン・パソコン・インターネットに関すること	61	16.2%
子育て・教育に関すること	46	12.2%
学校課程での学習	32	8.5%
NPO活動に関すること	20	5.3%
特にない	20	5.3%
その他	8	2.1%

[その他]の回答： 地域文化の伝承／ほうき作りの伝承／祭り（地域伝統芸能）／防犯・安全／麻雀

※割合の母数は回答者数（376）



Q9_さらに生涯学習を盛んにしていくため、市は今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）

	回答数	割合
公共施設の整備	148	39.4%
サークル・スポーツ団体への支援	129	34.3%
ボランティア活動への支援	108	28.7%
地域コミュニティの促進	106	28.2%
学習情報発信、情報提供の充実	99	26.3%
市主催講座の充実	93	24.7%
活動成果を活かせる場と機会作り	82	21.8%
住民ニーズの把握、反映	77	20.5%
指導者などの人材育成、活用	77	20.5%
企業・大学等との連携	66	17.6%
学習相談窓口の充実	42	11.2%
特に力を入れる必要はない	10	2.7%
その他	8	2.1%

[その他]の回答： コミュニティバスなど、参加しやすい移動手段の整備。

小川げんきプラザの様な多くの子供が参加できる体験型イベント。

学校開放で小学校の利用できない時期が長い（音楽会・卒業式・入学式時）。

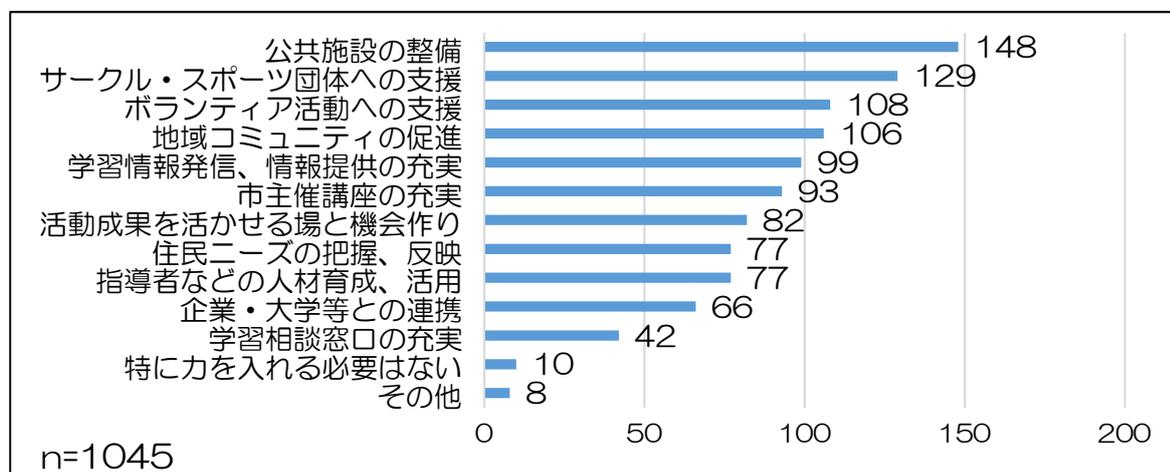
活動できる場所の提供までのシステムづくり。活動するためのハードルを下げるシステムづくり。

18～65歳までの学生及び働く世代が知りやすく参加しやすいものを増やすべき。

市民が気軽に集える場所としてふじみ野市のエコパのような温泉スパ施設を開設すべき。

気軽に参加できるスポーツジムのクラスや講座など。

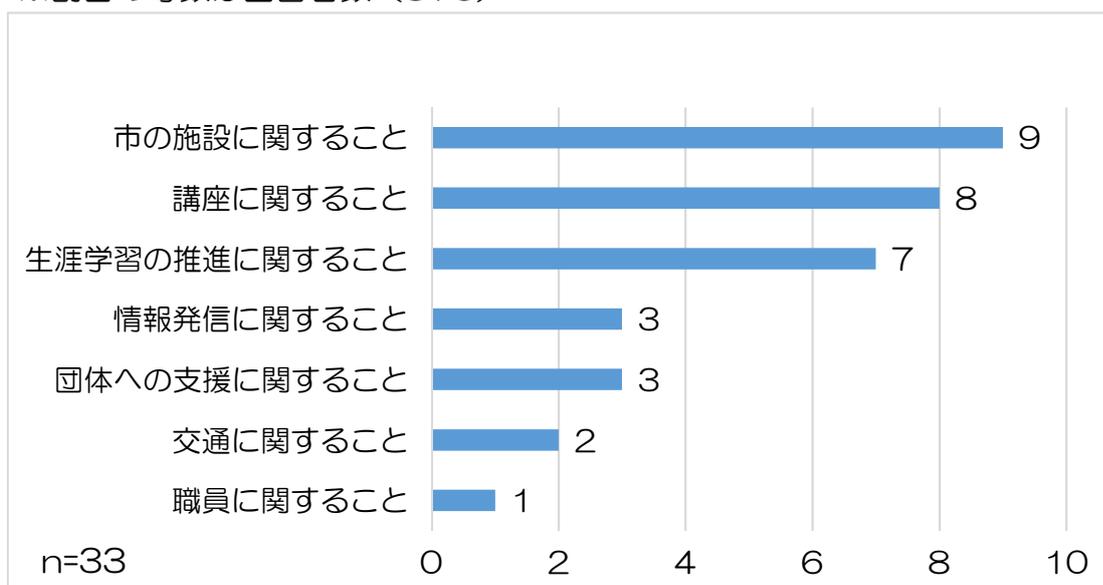
※割合の母数は回答者数（376）



Q10_その他、ご意見等ございましたら自由にお書きください。

	回答数	割合
市の施設に関すること	9	2.4%
講座に関すること	8	2.1%
生涯学習の推進に関すること	7	1.9%
情報発信に関すること	3	0.8%
団体への支援に関すること	3	0.8%
交通に関すること	2	0.5%
職員に関すること	1	0.3%

※割合の母数は回答者数（376）



主な意見（抜粋）

■市の施設に関すること

- 休憩場所（ベンチ）の設置
- 施設駐車場の拡充
- 活動場所の拡充

■情報発信に関すること

- 福祉や就労支援情報の提供

■団体への支援に関すること

- 団体の継続・会員の世代交代

■講座に関すること

- 講座内容の充実化
- 開催回数の充実化
- 講師とのコンタクトの場

■交通に関すること

- 公共施設へのアクセス方法
- 交通アクセスが良いところでの講座等の開催

■生涯学習の推進に関すること

- 新しい学び合いについて
- 行政に求められる役割について
- 市民が参加しやすい学習機会

■職員に関すること

- 職員の配置や対応について

生涯学習に関する市民アンケート調査の結果について

【アンケート結果から見える課題】

・生涯学習に対する認知度や必要性を感じている割合は高い一方で、育児や仕事などの忙しさから生涯学習活動を行っていないという回答も少なくありません。このことから、生涯学習に取り組みたくても取り組めていない方が一定程度いることが想定されるため、そのような方々への支援を検討する必要があります。

・情報の入手しやすさについては、広報紙による情報発信への評価と期待が高い一方で、現在行っている情報発信では生涯学習情報が伝わっていない市民がいることもわかります。「伝える」から「伝わる」生涯学習情報の発信ができるよう、広報紙以外による情報提供についても工夫する必要があります。また、前は「どのように情報が得られたら便利だと思いますか」という設問については、前は「広報誌」に次いで「町会の回覧」が多かった結果になっていましたが、今回は「インターネット（SNS）」が次いで多く回答があり、デジタル社会としてインターネットでの情報発信の強化が求められています。

・前のアンケートの際は無作為抽出法で実施したところ、今回同様に70代の回答が一番多く、次いで60代、50代の回答が多くを占めました。一方で、18歳から29歳までの若い世代の回答者は4%未満であるなど、アンケート回答者の年代の偏りも課題でした。今回、新たな取り組みとしてWEBアンケートを行い、前回より10代、20代の回答者が微増したため、WEBアンケートは一定の成果がありました。しかしながら、未だ年代の偏りが大きいため、今後も若い世代や、まだ生涯学習になじみのない方も含めたすべての世代から意見や満足度を把握するためのアンケートの方法を工夫する必要があります。

参考資料：年代別・媒体別集計数一覧

年代	回答数		合計	割合	Web回答者の割合
	紙	Web			
10代	1	4	5	1%	80%
20代	4	10	14	4%	71%
30代	7	31	38	10%	82%
40代	21	27	48	13%	56%
50代	17	35	52	14%	67%
60代	31	17	48	13%	35%
70代	86	12	98	26%	12%
80代	61	4	65	17%	6%
90代	2	0	2	1%	0%
無回答	4	2	6	2%	33%
合計	234	142	376		